

4年生 社会 「災害からまちを守るために」 ④ 教科書 p.26 ~29

※今日はノートではなく、プリントに書きましょう。プリントはノートにはります。

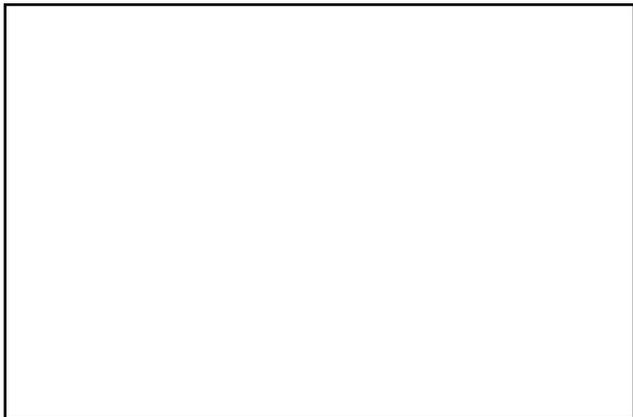
めあて

学校や地域の消防設備を見て、どのような役わりがあるか考えよう。

★学校には、このような消防設備があります。どのような役わりかノートに書きましょう。
予想して書いても OK！調べて書いても OK！学校が始まってから、かくにんをします。

① 消火栓

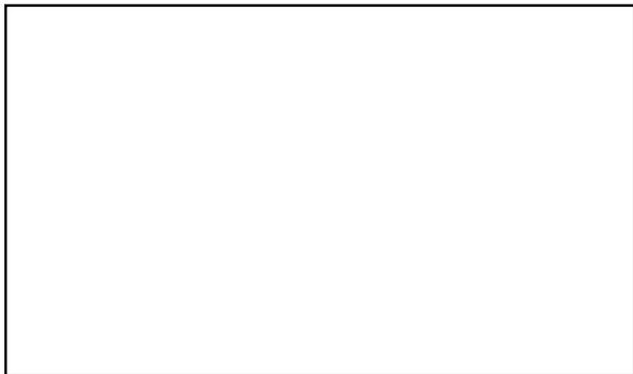
あけてみると...



② 消火器



③ 防火扉



この他にも、火災報知器や煙感知器などがありました。火災を防ぐものと、火災を広げないためのものがあるようでした！

4年生 社会 「自然災害にそなえるまちづくり」 ① (下)教科書 p.30~31

補助教材 p.2~9

※今日はノートではなく、プリントに書きましょう。プリントはノートにはりませう。

めあて

地震によるひがいを防ぐために、市役所ではどのような取組をしているか考えよう。

1. 地震が起きることで、どのようなひがいが考えられますか。教科書(下)p.31~32を見て、答えませう。

():高波とはちがい、家屋や建物をこわして海ぞいの地域に大きなひがいをあたえる。

【2011年 東日本大震災】

():火を使っている時に地震が起こると、そこから燃え広がることある。

【1995年 阪神・淡路大震災】

(建物):ゆれによって起こされるひがい。地震が大きければ大きいほど、このひがいも大きくなる。

2. 市役所は、地震や津波にそなえてハザードマップを作成しています。

ハザードマップは何のために作られていますか。補助教材 p.9を見て、ノートに書きませう。

例がほしい人は、下の文を参考にし()をうめて、ノートに書きませう。

地震や津波、こう水など、自然災害の発生により()されるひがいを、()にしめたもの。自然災害にそなえるために作られている。

3. 自然災害が起きたとき、県や市が中心になって取り組めるように、**地域防災計画**をつくっています。

地震や津波から住民を守るために市や県だけでなく、警察などの関係機関と協力できる仕組みになっています。

関係機関には警察のほかにもどのような人がいますか。P.6・7を見て、2つあげませう。



めいさい服(緑色にもようが入っている)が特ちょう的。救助だけでなく、食料や水をひさい地へ運びませう。



オレンジ色の服が特ちょう的。ひがいの情報を調べたり、ひさい者を救助したりませう。

※**ひさい地**:災害が起きたときに、ひがいを受けた地域のことをいう。ひさい地において、ひがいをうけた人のことを**ひさい者**という。

※今日はノートではなく、プリントに書きましょう。プリントはノートにはりませう。

めあて

地震にそなえて、市はどのようなしせつや設備をもうけているのか考えよう。

1. もし大きな地震があったとき、どこに避難しますか。お家の人と話してノートに書きましょう。

()

2. 広域避難場所といて、火災が広がっているきけんな時に避難する場所があります。

自分の住んでいるところの広域避難場所はどこですか。お家の人と話してノートに書きましょう。

()

ひかりが丘団地がほとんどかな...。もしくは、ズーラシア(横浜動物の森公園)の人もいるかな。
「横浜市旭区 広域避難場所」とインターネットで調べると、地区ごとにのっています。

★上白根小学校の中や周りにも、防災トイレや災害井戸ポンプなどいろいろな設備があります。

旭区のHP のハザードマップを見ると、それがよくわかります！

どんなに小さなことでも書きましょう！明応地震、元禄地震、関東大震災を見ると...
発生している地域はどうだろう？

3. 下の年表は、過去に神奈川県で起きた主な地震をまとめたものです。

気付いたことを書きましょう。

1257年	関東地方南部で大きな地震が発生。
1293年	鎌倉で大きな地震が発生。
1498年	関東地方から静岡、愛知、三重など太平洋ぞいにかけて大きな地震が発生。鎌倉で津波が起きる。(明応地震)
1633年	神奈川県西部・南部で大きな地震。小田原のひがいが多い。
1703年	神奈川県海ぞいの地域でかなり大きなひがい。(元禄地震)
1782年	神奈川県内で大きな地震が発生。小田原や箱根に大きなひがい。
1854年	伊豆から四国までの広いはんいをおそった大きな地震。(東海地震) 津波のひがいもきわめて大きいものだった。
1894年	横浜市を中心に大きなひがい。(明治東京地震)
1923年	関東地方をおそった大きな地震(関東地震)。ひがいはきわめて大きいものだった。(関東大震災 1923.9.1)
1926年	関東地震の余震。ひがいが大きかった。
1930年	北伊豆地震
2011年	東北地方太平洋沖地震

※余震(よしん):大きな地震に引き続いて起きる、地震のこと。

4年生 社会 「自然災害にそなえるまちづくり」 ③

※今日はノートではなく、プリントに書きましょう。プリントはノートにはります。

めあて

関東大震災から学ぶことはどのようなことか考えよう。

関東大地震:1923年9月1日 **午前11時58分** 発生

日本がアメリカやヨーロッパのように力をつけてから、初めて首都圏しゅとけん(東京や神奈川などの関東地方)をおそった大地震。関東大地震によっておきた災害のことを関東大震災という。

11時58分ってことは、もうすぐお昼の時間だったんだね...

① 関東大地震が起きた時間から予想される災害にはどのようなものがあるだろう。

災害の名前とその理由を書きましょう。

前回の年表を見てみると何かヒントがあるかもしれないね!

② 伊豆や房総をおそった津波は、ひがいを小さくすることができました。

なぜ、ひがいを小さくすることができたのでしょうか。

③ 日本は昔から地震が多い国だということが年表や歴史を見るとわかりますね。

今、自分にできる防災に取組はありますか。自分で考えたり、お家の人と考えたりして、書きましょう。

(例) ひなん場所をかくにんしておく。 / 防災グッズをつくってみる など

□先生から

みんなにとっては聞きなれない言葉も多かったかな。時間があるときにどういう意味なのか、調べてみようよ! 言葉のたから箱で、調べ方はばっちりなはず・・・!

先生の家には備蓄用びちく(災害があった時のためのもの)に、水があります。いろいろな防災グッズがあります。ペットボトルランタンなど自作でできるものもあるそうです。調べて、作ってみるのもいいですね!